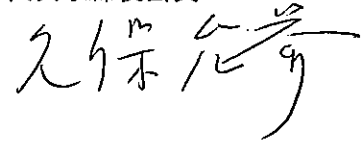


平成 28 年 6 月 3 日

広島県知事 湯崎 英彦 様
広島市長 松井 一實 様
広島商工会議所会頭 深山 英樹 様

株式会社サンフレッチェ広島
代表取締役会長



弊社からの確認事項について

拝啓 初夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当クラブ運営に多大なるご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

湯崎知事と松井市長におかれましては、5月27日のオバマ大統領の広島訪問にあたり、被爆地・広島 of 歴史的転換点に首長としてご臨席され、また、実際に間近で人類の歴史に刻まれるであろう大統領のスピーチをお聞きになられて、広島からの平和発信機能の強化について、ますますお心を強くされたことと拝察いたします。

さて、広島県民、広島市民、ひいては国民の公益に適い、またオバマ大統領の訪問で改めて世界中の注目を集めた広島からの平和発信機能を強化することを柱とする弊社からのサッカースタジアム建設プランについては、本年5月13日までに、弊社として最大限に検討可能な範囲で、スタジアムの仕様や年間を通じての多目的利用の考え方などについて、その詳細を公表いたしました。

この間、湯崎知事と松井市長は私どもからのプランに対し、「具体性に欠ける」「本当の意味での詳細はない」とのご発言をされていることを報道等で拝見いたしました。しかしながら、実際のところ、民間企業の弊社といたしましては、建設候補地の敷地面積などの具体的な取り決めがないと、これ以上詳細な設計プランの検討を進めることは不可能な状況でございます。このほか、多目的利用とスタジアムとしての収支試算につきましても、指定管理者に関する考え方についての前提などの大枠が判明しない限り、これ以上の詳細な検討を行うことは現実的ではないと考えられます。このように、これ以上に個別具体的な議論を深めていくには、スタジアム建設に関する基本的な枠組みに関する認識のすり合わせがどうしても必要になります。

そこで今後、広島市内にサッカースタジアムを建設する議論を早期に具体化していくのであれば、湯崎知事・松井市長・深山会頭と私という責任ある立場のトップが集い、スタ

ジアム建設に関する基本的な枠組みに関する認識を共有した上で、検討課題ごとに議論をおこない解決していく必要性があります。また、議論の進捗状況についてはサッカースタジアムが国民の公益に適ってしかるべきという観点から、逐次、広島県民・広島市民の皆様に共有していかなければならないと思います。

こうした状況に鑑み、サッカースタジアム建設にかかる議論を早期に前進させるために、本来であれば四者トップ会談にて議論すべきと私が考えていた 26 の項目を、下記の通り、「確認事項」として書簡でお送りすることといたしました。また、本日までに第三者からの助言も参考にしながら検討を進めてきた私どものプランに関する具体的な資金調達方法と、予想される経済効果についてもご説明した添付資料を同封いたします。

スタジアム建設に係わる議論の速やかで建設的な展開を期待しておりますところ、大変お忙しいところと拝察いたしますが、湯崎知事・松井市長・深山会頭からの具体的なご返答を、心よりお待ちしております。皆様からのご回答を踏まえた四者トップ会談が、より具体的で実りあるものになることを願ってやみません。

記

確認事項

<前提について>

1. 県民・市民の税金を使って開催された「サッカースタジアム検討協議会」ですが、この協議会における非公式かつ未定稿な議事録しか残されていないにもかかわらず、いまだに、この協議会における議論を前提として、今後のサッカースタジアム建設に関する議論を進めなければならないとお考えの具体的な理由を教えてください。
2. 旧広島市民球場跡地にサッカースタジアムを建設するのは難しいとお考えの具体的な理由について、建設費以外の理由があれば教えてください。
3. 今後の議論の進み具合によっては、広島市内におけるサッカースタジアム建設の検討自体を白紙とする考えをお持ちでしょうか。

<旧広島市民球場跡地案について>

4. 弊社は地面の掘り込み工事の必要のない収容人数 2.5 万人規模のプランで国際試合の誘致が可能と日本サッカー協会から回答を得ておりますが、作業部会は、何故、収容人数を 3 万人規模に設定されているのかを具体的に教えてください。
5. 一部報道にて「将来は旧広島市民球場跡地に青少年センターや中央図書館など古い市の施設を集約し、文化芸術施設を建てる」と報じられておりますが、現時点でも、広

島市として、特に老朽化の著しい青少年センターを移設されることをご検討されているのでしょうか。青少年センターの移転をお考えでない場合は、耐震改修工事の予定があるのかも教えてください。また、他の周辺施設にも移設の計画がございましたら教えてください。

6. 作業部会案の旧広島市民球場跡地案に駐車場収入を見込んでいない理由を教えてください。
7. 市が計画されている旧広島市民球場跡地での「イベント広場案」は恒久的な施設を建設することになっており現在の暫定利用にあたらなと思料されます。従って、旧広島市民球場跡地で「イベント広場案」が実現した場合は、オクトーバー・フェストなどのイベントは行わないという理解でよろしいでしょうか。
8. 一部報道にて「旧広島市民球場跡地にて行われている各種イベントの使用料は市の判断で徴収していない」と報じられていますが、事実なのでしょうか。

<作業部会のみなと公園案について>

9. 港湾関係者もご懸念されているみなと公園の地盤・土壌汚染の調査の進行状況を教えてください。
10. 作業部会のみなと公園案ではスタジアム整備費用を 180 億円と試算されていますが、
 - 土壌汚染が存在する場合の対策費用
 - 周辺一帯の使用目的変更にかかる港湾整備に対する補助金の国への返還費用
 - 緑地・防災拠点の代替地の確保に伴う追加費用
 - 周辺のインフラ整備費用（出島地区と結ぶ橋梁建設費用、道路拡張工事費等）

など、一連のスタジアム建設に要すると思われる全ての整備を合計した場合の費用総額を教えてください。また、港湾計画の変更と、一部報道によれば変更に伴って生じるとされる 15 億円の国庫補助金の返還について、国土交通省などとの議論はどのような状況にあるのでしょうか。

11. 作業部会のみなと公園案のスタジアム収入内訳にプロ興行（0.9 億円）と地元プロチーム負担（金額なし）がありますが、この記載の趣旨を教えてください。
12. 一部報道にて「MICE 施設を例示していたが、後退させた」と報じられていますが、複合施設の方針に変更がございましたら詳細を教えてください。

13. 2月16日付で作業部会が発表した「宇品地区の交通課題の解決策に関する検討状況について」の中で、「ハード対策を行った場合、円滑な交通処理が可能」とされていますが、ハード対策とは具体的に何を指しているのでしょうか。また、ハード対策に掛かる費用を教えてください。
14. 作業部会はみなと公園案で、複合施設とされるホテルの建設を、「民間による施工を検討」とありますが、具体的な誘致スケジュールを教えてください。
15. 作業部会はみなと公園案の複合施設に関してMICE・ホテルを想定されておりますが、Jリーグなどのプロサッカーの試合は週末開催が多く、MICEの利用も週末が想定されます。また、MICEはアクセス性が重要視されることが一般的ですが、みなと公園にMICEを建設する意図を具体的に教えてください。
16. 作業部会はみなと公園案の輸送手段として軌道系（広島電鉄）を使用して、一時間に6,240名を運ぶとされています。これは現在の2.9倍の輸送能力にあたりますが、車両留置施設を新設されるのでしょうか。また、新設される場合の場所と費用負担について教えてください。
17. 作業部会はみなと公園案の輸送手段として、シャトルバスで1時間に10,250名を運ぶとありますが、所要時間を考慮すると、かなりの台数のバス車両が必要となると思いますが、何台のバス車両が必要になる計画なのでしょうか。また、高速道路を使用するバス車両は乗客の着座とシートベルトの着用が義務付けされておりますので、広島高速を使用した場合の運賃は市内バスと比較するとかなり高額になると思いますが、料金政策について教えてください。
18. 作業部会のみなと公園案では、シャトルバス乗降場17台分のスペースが用意されていますが、十分とお考えなのでしょうか。また、スタジアムから道路を渡らなければ軌道系やバスの利用ができず、十分な安全確保がされていないように思われますが、改善策があれば教えてください。
19. 作業部会のみなと公園案では、アルパーク、イオンモール府中、マリーナホップからのバスや船舶による輸送を計画されておりますが、これらの施設に駐車場利用などの承諾は受けているのか教えてください。
20. 作業部会のみなと公園案では、観音マリーナから1時間当たり560名の観客を運ぶことを計画しており、作業部会からは口頭で「瀬戸内海汽船を利用する」とお聞きしましたが、運賃・所要時間と試合終了後の運行スケジュールの想定を教えてください。

21. 作業部会のみなど公園案では、必要駐車台数を 2,999 台とし、ホテル併設案で駐車場を 1,000 台確保とありますが、ホテル利用者や宇品港利用者の駐車場としても使用することを考慮した場合、周辺に確保すべき駐車台数は何台になるのでしょうか。また、作業部会より口頭で「市立広島特別支援学校の西側の空き地は駐車場としては使用しない」「ゆめタウン御幸やイオン宇品店の駐車場を利用する」とお聞きしましたが、現在でも週末は大変混雑する両商業施設の駐車場を使用することが可能なのか教えてください。
22. 作業部会の資料では、近年新設された類似スタジアムとして千葉市蘇我球場（フクダ電子アリーナ）を用いていますが、フクダ電子アリーナは 2005 年 10 月開園と新しくはなく、また、JR 京葉線、総武線、外房線、内房線が乗り入れる JR 蘇我駅から徒歩 8 分と交通の利便性が良いスタジアムです。どのような理由で、類似スタジアムとして同競技場を用いているのか教えてください。
23. 作業部会の資料の中で、大規模修繕工事の積立金 44 億円(30 年間)の検討をした箇所はありますが、事業の実現可能性調査の試算では大規模修繕工事の積立金は考慮されておきませんが、その理由を教えてください。
24. 作業部会のみなど公園案では、大規模修繕工事の積立金を考慮しない事業の実現可能性調査の試算において、収入(3.1 億円)から運営・管理費 (1.75 億円) を除く金額が借入金返済原資 (1.36 億円) となっておりますが、この返済原資で調達できるスタジアム建設資金が幾らになるのか教えてください。

<資金調達方法について>

25. toto 助成補助金以外の具体的な資金調達計画を教えてください。
26. 作業部会の資料 4 月 20 日付け実現可能性調査「事業の実現可能性調査」において、「広島には吹田スタジアム建設のように 1 企業から多額の拠出が見込めないため、吹田スタジアムのように全てを民間で整備できないので、一定の自治体の関与(負担)は必要」(原文のまま)との前提としていますが、弊社案は、吹田スタジアム同様に一企業が過半数以上の資金を負担することになっております。そうなりますと、この前提は変わり、実現可能性調査の結論も覆ると考えますが、この点についての見解をお聞かせください。

以上